

## 京都府産業廃棄物減量・リサイクル推進ネットワーク協議会 議事要旨

1 日 時 平成20年7月30日(水曜日)午前10時～12時00分

2 場 所 京都府庁文化環境部会議室(第1号館1階)

3 議 事 (1) 産業廃棄物の減量・リサイクル推進事業をより実効性のあるものとするため協議  
(2) 各業界が抱える課題の提起

4 出席者	龍谷大学理工学部	教授	占部武生氏
	京都大学環境保全センター	准教授	平井康宏氏
	京都府立大学生命環境科学研究科	准教授	山川 肇氏
	日新電機株式会社	グループ長	浦野新一氏
	福田金属箔粉工業株式会社	調査役	富田亮二氏
	NPO法人KES環境機構	専務理事	津村昭夫氏
	社団法人京都府産業廃棄物協会	専務理事	岩田 隆氏
	株式会社京都環境保全公社	常務取締役	檀野恭介氏

### 5 主な意見等

#### <産業廃棄物減量・リサイクル推進会議の開催について>

基調講演や各業界からの課題・現状等の発表、パネルディスカッション等の意見交換(シンポジウム)が考えられる。

排出事業者と処理業者のマッチングの場が少ないので、処理業者からの発表(情報提供)も考えられる。

パネルディスカッションでは、「排出事業者が安心してリサイクル・処理を委託していくために、各業界は何をしていくべきか」といったテーマで、各自の立場から広く意見を出してもらってもよいのではないか。

#### <産業廃棄物の減量・リサイクルに関する情報について>

排出事業者からすれば、処理業者自身の企業情報や廃棄物処理に関するもう少し細かい情報が必要とされている。

特殊な性状の産業廃棄物が事業場全体の大部分を占めるケースもあり、これらに対応できる処理業者の情報があれば、さらに減量リサイクルの促進が期待できる。

処理業者からすれば、排出事業者が具体的に困っていること等の情報がない。処理業者が新しい技術を用意して待っていることは難しく、むしろ、排出事業者側のニーズを汲み取り、排出事業者と共同して廃棄物の減量・リサイクルを促進していくことに関心は強い。

#### <排出事業者向けアンケート調査の実施について>

中小企業を対象としたアンケートに力点を置いた方がよいのではないか。特に、このアンケートは減量・リサイクルの取組の進んでいない企業に配布される方が意味がある。

京都商工会議所や京都工業会等の協力を得れば、さらに広くアンケート調査が実施できるのではないか。

排出事業者がリサイクルしたいと思っているができていない廃棄物等についても調査した方がよい。

処理業者を選ぶ際に重視したいが入手が難しいといった項目も調査した方がよい。これらの分析から、排出事業者・処理業界の情報のミスマッチの解消につながると考えられる。

#### <産業廃棄物リサイクル情報データベース化について>

事業者の営業上のPRや特記したい点も調査し、その結果を排出事業者が見ることができれば意義がある。

京都府のHPでしか事業者情報を検索できないのでは利便性が悪いので、一般的な検索サイトからでも事業者情報にアクセスできるような工夫が必要。

各団体等で独自のデータベースが存在しているが、将来的には統一されることが望まれる。

#### <ゼロエミッションアドバイザー派遣事業・相談コーディネート事業の推進について>

両事業とも、広報・周知活動を積極的にやっていくべき。

京都商工会議所や京都工業会への協力要請や、各団体での説明会の実施なども効果的ではないか。

KES審査登録会社も京都市内で800社程度あり、これら企業への周知も効果があり、これら事業のニーズもあるのではないか。